

ご存知ですか？マイナンバー制度

～ 平成27年10月から、住民一人一人にマイナンバー（12桁の個人番号）が通知されます ～

民間事業者の方でも、マイナンバー制度開始に向けた準備が必要です

民間事業者の皆さんは、平成28年1月以降、従業員の健康保険や厚生年金などの加入手続や、給与の源泉徴収票の作成を行うために、事業所の法人番号とともに、従業員のマイナンバーが必要となります。今年10月からの番号通知以降、従業員から番号を取得することができます。

税や社会保障の手続きのため、それぞれの帳票などの提出時期までに、パートやアルバイトを含め、全従業員のマイナンバーを順次取得し、源泉徴収票や健康保険・厚生年金・雇用保険などの書類に番号を記載することになります。

マイナンバーは、適切に管理してください。

マイナンバーは、従業員の方の重要な個人情報（特定個人情報）です。適切に管理することが必要です。マイナンバーを従業員から取得する場合は、法律で認められた利用目的を特定し、本人に通知してください。法律で認められた目的以外に提供を求めたり、利用したりすることは、本人の同意があってもできません。



愛称：マイナちゃん

マイナンバー制度のお問い合わせは

0570-20-0178（全国共通ナビダイヤル）

9時30分～17時30分（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）

※一部IP電話などで上記ダイヤルに繋がらない場合は、**050-3816-9405**におかけください。

つたえたい読書の喜び楽しさを

「第2次南国市子ども読書活動推進計画」ができました！



ほら、これ、おもしろいよ！

読書は、子どもたちの知的好奇心を刺激し、豊かな感性を育み、主体的に生きていく姿勢を養います。市教育委員会は、南国市で育つ子どもたちの読書活動の推進のための計画を策定しました。

計画書は、市のホームページからダウンロードできます。
また、市立図書館でも配布しています。

市教育委員会は、南国市で育つ子どもたちが幼いころから本と親しむきっかけをつくるために、平成14年度から「ブックスタート事業」を実施しています。この事業では、毎月保健福祉センターで行われる10カ月児健診の際に、赤ちゃん一人一人に絵本を読み、絵本を読むことの楽しさや読書の大切さを保護者にお伝えしており、その数は4,000組を超えました。

これからも、この事業を継続して実施していきます。



絵本、ブックリスト、読書メモなどを、ブックスタート特製バッグに入れてお渡しします。



※お問い合わせは、市立図書館（☎863-0469）まで

熱中症を予防しましょう

例年、熱中症は気温が上がり始める5月頃から発生し、7月から8月に集中して発生していますが、暑さが厳しくなる7月に入ると発症者数が急激に増加するので、平成25年から7月を「熱中症予防強化月間」と定め、熱中症予防に特に注意をお願いしています。

熱中症は予防ができる病気です。熱中症を知り、しっかり予防しましょう。



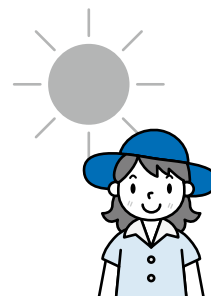
熱中症とは

室温や気温、湿度が高い中で、作業や運動により、体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、重症になると、けいれんや意識の異常など、様々な症状をおこす病気です。



予防のポイント

- 暑さを避けましょう
直射日光を防ぎ、風通しを良くしましょう。
- ▼エアコンや扇風機を使って、室温が28度を越えないようにしましょう。
- ▼外出時は、帽子をかぶるなど日よけ対策をしましょう。



○服装を工夫しましょう
熱を吸収して熱くなる黒色系の服は避け、体をしめつけない涼しい服装で出かけましょう。

○水分を補給しましょう
水分補給は熱中症予防の基本です。水やお茶、スポーツドリンクなど、水分をこまめに補給しましょう。

○体調管理をしましょう
深酒をせず、十分な睡眠をとしましょう。

○暑さ指数を活用しましょう
暑さ指数とは、熱中症の危険度を、「ほぼ安全」から「危険」までの5段階で表したものです。環境省の熱中症予防サイト（<http://www.wbgtenv.go.jp/>）で確認することができます。



子ども、高齢者は特に注意

体温調節機能が発達していない子どもや、暑さや水分不足に対する感覚機能が低下している高齢者（65歳以上）は、特に注意が必要です。家族や周りの人が、暑ければ熱中症になる危険があると思つて日頃から注意をし、積極的に声を掛けてください。

○子供の熱中症予防
遊びの際にも休憩を取り、水分補給をしましょう。

▼服装に注意し、帽子も忘れずにかぶりましょう。

▼バランスのとれた食事や運動などで、暑さに負けない体づくりを実践しましょう。

▼ちよつとの間だからと油断せず、絶対に自動車内に子どもを置き去りにしないようにしましょう。

○高齢者の熱中症予防

▼のどが渇かなくても、こまめに水分補給をしましょう。

▼「周りに迷惑をかけたくない」などと無理をせず、調子が悪いと感じたら、すぐに誰かに知らせましょう。

熱中症が疑われたら

▼涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる。
▼エアコンや扇風機などで体を冷やす。
▼水分を飲めるなら、量は少しずつ、回数は多く取る。

ためらわずに救急車を

自分で水が飲めないときや動けないとき、意識がなかったりおかしかったりしたとき、全身のけいれんがあるときなどは、ためらわずに救急車を呼びましょう。

*救急講習のご案内

南国消防署では毎月第2・第3日曜日（午前9時～正午）に、AEDなどを利用した心肺蘇生法、出血時の止血法などの応急手当の救急講習を行っています。受講希望の方は、救急講習実施日の5日前までにお申込み下さい。

※お問い合わせは
消防本部

（☎863・3511）まで